

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

書名 項目	新しい社会		2 東書
内容	＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞		
	<p>○「必要感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」と思えるよなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や写真などの資料を大きく提示することにより、興味関心を引き出し、学びの意欲へとつなげている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の見出しが大きく、それぞれの学習段階ごとに留意することや活動の具体例を示して児童が見通しをもてるようにしている。 	
	<p>○「思考の深まり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の思考を広げ深める工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が豊富で大きめに表示されているので細部まで確認でき、教科書兼資料集として活用できるようにしている。 ・見開きでまとまりが構成されているので、児童の思考を整理しながら考えを広げて内容を深める構成になっている。 ・中学年の学習課題を考える手だてが段階を追いながら構成されており、思考を深められるように工夫されている。 	
	<p>○「達成感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを読み取ると、ワークシート・思考ツールなど自ら選択して学習内容をまとめることができるようになっている。 ・単元末には、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案、発信したりする場面を設けている。 	
	＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞		
	<p>○「教科等横断的な視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真が大きく見やすいため、児童同士の比較検討が行えるようにしている。 ・各ページに二次元コードがあり、映像資料が多く、教師・児童ともに活用できるようになっている。 	
その他	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞</p> <p>○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの姿や台詞を通して、社会的な見方・考え方を育む問いが投げかけられている。 ・見開きのキーワードを「ことば」として提示し、学習のまとめで活用できるように設定されている。 <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の例示である「学びのポイント」が、発達段階に応じた示し方となっている。 ・各学年の発達段階に応じた具体的な学習の技能や方法を示した「学び方コーナー」が設けられている。 		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

<p>書名 項目</p>	<p>新しい社会</p>		<p>17 教出</p>
<p>内容</p>	<p>＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるよ うなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通 し」の工夫</p>	<p>・単位時間ごとのめあてを「この時間の問い」と称して提示して いる。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」のどの場面 を学んでいるのか、教科書の端にインデックスがあることで視 覚的に理解できるようにしている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深め る工夫</p>	<p>・「学びのてびき」により、自分で資料等の説明を入れることで 知識を広げて学習を深めようとしている。 ・伝統や文化など実際の人物のインタビューを多く取り上げて いて現代に通じる身近な内容に結び付けている。 ・キーワードをもとに、既存の教科書資料も多く取り入れながら 特色を表している。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時 間のまとまりを見通した単 元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する 「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊 かにする態度につながる工夫</p>	<p>・二次元コードを読み取ると、その単元で学習したキーワードを 中心にまとめられるようになっている。 ・個々の関心、意欲に応じて活用できる読み物を中心とした「も っと知りたい」のページや、地域や社会のこれからについて構 想する「つなげる」のページを設けている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・「この時間の問い」→「自分で調べて考える」といった学習 の流れを分かりやすくすることで、主体的・対話的で深い学 びを実現できるように工夫されている。 ・示されている二次元コードがどのような内容のものかが分か るように工夫されている。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・毎時の学習活動を3段階で簡潔に提示している。 ・棒グラフや折れ線グラフなどの表示がシンプルになっている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・当該学年の配当漢字や固有名詞、社会科用語等には、見開きごとにふりがなと語句解説 がついている。 ・5年生からは、児童が自分で資料を選んで、ポイントを手掛かりに読み取り考察、みん なで共有するという「個に応じた主体的な学び」ができるようになっている。</p>		

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目（教科等）【社会】

<p>書名 項目</p>	<p>小学社会</p>		<p>116 日文</p>
<p>内容</p>	<p>＜児童が「必要感」・「思考の深まり」・「達成感」を味わうことができる工夫がされているか＞</p>		
	<p>○「必要感」 ・「やってみたい」と思えるようなめあての提示の工夫 ・課題解決に向けた「見通し」の工夫</p>	<p>・めあてとする疑問を児童のイラストを使って示している。 ・見開きごとに、どのような力がつくのかを脚注インデックスで示すことで見通しをもてるようにしている。</p>	
	<p>○「思考の深まり」 ・児童自身の思考を広げ深める工夫</p>	<p>・歴史では、現代に息づく伝統や文化について触れており、自分たちの生活とどのように関わっているのかを提示している。 ・次学年の学習に向けてつながりを持たせているので、既習事項を生かしながら学習を進められる工夫がされている。 ・複数の意見を提示しながらメリット・デメリットを提示して、多角的な視点から思考を深められるように工夫されている。</p>	
	<p>○「達成感」 ・単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した単元計画の工夫 ・学んだことを理解確認する「まとめ」の工夫 ・学んだことを生かし、生活を豊かにする態度につながる工夫</p>	<p>・「学び方・調べ方コーナー」で、教科書に例示されているまとめや深め合い活動のポイントを抑えられるようになっている。 ・単元末の「考えようSDGsコーナー」では、身近な事例、世界の課題、複数の目標など各学年に応じた視点で諸課題への意識を高められるようになっている。</p>	
	<p>＜教科等横断的な視点を取り入れた工夫がされているか＞</p>		
<p>○「教科等横断的な視点」 ・言語活動 ・情報活用能力 ・問題発見・解決能力の視点</p>	<p>・各ページに二次元コードがあり、児童自身が活用できるようになっている。ICT機器を傍らに学習を進めることで、視覚的に情報をとらえられるようになっている。 ・「未来につなげる」では、既習事項を生かして自分たちがより過ごしやすい世の中にするための言語活動の充実を図る工夫がされている。</p>		
<p>その他</p>	<p>＜資料の構成・配列や表記・表現＞ ○児童が学びたくなる資料（挿絵・写真・図表等）の工夫が見られるか。 ・コラムが充実しており、インタビュー等で多くの情報収集ができるよう工夫されている。 ・歴史では最近の時事問題を取り上げ、今と昔の比較ができるようになっている。巻末には教科書に掲載された地名について日本地図で場所と掲載ページを示しているので確認しやすくしている。 ○教材や内容の文章表現の難易度について、児童の発達の段階からどのような工夫が見られるか。 ・学習課題の設定の仕方について3年生は段階を踏みながら学習を進める表記になっている。 ・SDGsのシールを巻末に設けて、身近な学習問題としてだけでなく、内容の広がりを持たせる工夫をし、「やってみよう」では自分でさらに学習を深められるようなヒントやきっかけを与えている。</p>		